



明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



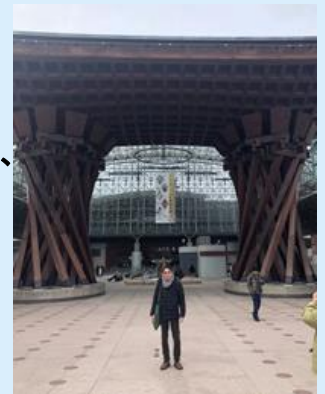
船越税理士事務所一同

「お客様と共に幸せな人生を生きる」-そのために^{あたま}頭脳をフル回転させる-

大々的にあまり表に出してはいないんですけど、上記が弊所の基本理念です。サービス業の弊所が、お客様の幸せのために動くのは当たり前です。そのために常により良い方法を考え行動する、それも速やかに。この当たり前に加えて、我々職員がその活動に疲弊してしまって、自身の健康・家族を犠牲にしていたのでは、お客様に真の幸せは届けられません。したがって、我々は、お客様に幸せな人生を送っていただくために、自らの生活の充実も両立させ、お客様と笑顔でお会いできるよう心がけています。

といったわけで？、1月5.6日に家族で金沢に行ってきました。全員社会人となった子どもたちが企画してくれた14年ぶりの家族旅行でした。これで1年間働く力をしっかり蓄えました。

よーし、今年も皆様の幸せのために働くぞお！！ 船越



金沢駅にて

偉大なる日本の100人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

【士魂商才の冒険家「山田長政」】

徳川家による天下泰平がもたらされた江戸初期、夢を求めてシャム（タイ）に渡り活躍した山田長政。その出自には 諸説ありますが、1590年に駿府（すんぷ：現在の静岡県）で商人の子として生まれたといわれています。城下町である駿府が活気を帯びる中、徳川家康の家臣だった大久保忠佐（ただすけ）の駕籠（かご）かきに任せられ、長政は武士の身分となります。しかし、江戸幕府成立後は戦乱は少なくなり、武士の出世のチャンスも激減。家康が起こした海外貿易ブームに触発される形で、22歳の頃にシャムに渡ったのでした。その当時、東南アジア各地には、海外で一旗揚げようと渡航した戦国浪人を中心に日本人町が形成されていました。長政はシャムの王都・アユタヤの日本人町にたどり着くと「自分は織田信長の縁者だ」とはったりをきかせて人々の心をつかみ、優れた弁舌と面倒見のよさで日本人町のリーダーとなります。その後、貿易商としても才能を開花させ、さらには日本人傭兵隊を組織してシャムの国防にも大いに貢献しました。その功績を認められ、アユタヤ王国の貴族の地位も得たのでした。しかしその後、王朝一族の確執に巻き込まれると辺境の地に追いやられた揚げ句、毒殺により命を落とします。武士の心と商人の才を併せ持ち、在外邦人の暮らしの安全と安定に心を砕いた40年の生涯でした。



今を生きる
先人の言葉

楽しむのではなくて
面白がることよ

個性派の女優である樹木希林の言葉。楽しむことは外から眺めていてもできる。しかし、輪の中に入ってはしゃぎ回れば面白くなってくる。さあ、飛び込もうよ！